

第 53 回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：2025 年 12 月 7 日(日)

開催場所：ソニックシティ

テーマ：Hop Step Jump

サブテーマ：～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～



～飛躍する未来に向けて、今学ぼう～

【特別講演・市民公開講演等のお知らせ】

第 53 回埼玉県医学検査学会にて事務局（運営・書記兼務）を担当しております、株式会社 TLC 戸田中央臨床検査研究所の山崎淳也です。学会開催までいよいよ残り 1 か月となり、現在、実行委員一同は、参加されるみなさまにとって有意義な時間となるよう、タイムスケジュールの最終調整や会場の準備を進めております。今回の埼臨技だよりでは、特別講演および市民公開講演の内容についてご紹介いたします。

特別講演では、まず「超音波のパニック所見症例とその対応」と題し、全国学会でもご活躍中の 3 名の先生方をお迎えして、それぞれの専門分野における緊急性の高い症例への対応について、実践的な視点からご講演いただきます。続いて、「なぜ今、技師会で災害対策に力を入れるのか」というテーマでは、日本臨床検査技師会事務局の板橋氏、埼玉県臨床検査技師会の松岡会長、そして能登半島地震の被災地派遣経験をお持ちの埼玉医科大学病院・野村氏の 3 名をお迎えし、災害時の活動や行政との連携について、検査技師としての社会的役割を再認識する貴重なお話を伺います。

市民公開講演では、地域のみなさまにも楽しんでいただけるよう、三つのプログラムをご用意しております。まず一つ目は、さいたま赤十字病院 検査部長・天野雅子先生による「流行感染症にかかるない・うつさないためにできること」と題した講演です。感染症対策の基本から最新の知見まで、日常生活に役立つ情報をわかりやすくお話しします。二つ目は、埼玉県庁医療整備課による「AI 救急電話相談について」の講演です。急な病気やけがの際にチャット形式で相談可能な AI 搭載サービスについてご説明いただきます。本サービスは国内初の取り組みとして注目されており、医療支援の新たな可能性を示す内容となっております。三つ目は、埼玉県立伊奈学園総合高等学校吹奏楽部による演奏「音楽は癒し」をお届けいたします。音楽には、ストレスの軽減や情緒の安定など、心身に良好な影響をもたらすとされており、日々の疲れを癒したい方にとっ

て心安らぐひとときとなることでしょう。

今回の学会テーマ「Hop Step Jump」のとおり、みなさまにとって学びと交流のある充実した時間となるよう、実行委員一同、心を込めて準備を進めております。学会当日には、ぜひ多くのみなさまに足をお運びいただき、充実した時間をお過ごしいただければ幸いです。

(文責：第 53 回埼玉県医学検査学会 事務局兼運営 山崎淳也)

【学会ホームページ作成を経験して】

第 53 回埼玉県医学検査学会の運営部として、学会ホームページの作成・更新を担当しております、川口市立医療センターの比嘉良瑚と申します。

私生活では SNS やブログなどをほとんど利用したことがなく、ホームページ作成を担当することになった際には、「そもそもどうやって作るのか？自分に務まるのか？」と、漠然とした不安を抱いておりました。手探りの状態からのスタートでしたが、第 51 回・第 52 回学会ホームページを担当された柿沼様と脇谷様より、温かく丁寧なご助言をいただき、少しずつ形にすることができました。お二人のご助言とご配慮に、心より感謝申し上げます。

学会まで残り 1 ヶ月を切り、準備中だったページも随時公開しております。学会の魅力を少しでも多くの方に感じていただけるよう、試行錯誤を重ねながら準備を進めてまいりました。本学会へのご参加を心よりお待ちしております。

(文責：第 53 回埼玉県医学検査学会 運営部 比嘉良瑚)

【運営部を担当して】

第 53 回埼玉県医学検査学会実行委員会にて運営部を担当しております、獨協医科大学埼玉医療センターの松本祐弥と申します。

私が担当する運営部は、他部門との兼務を含めて 7 名の委員で構成されています。発足から約 1 年が経過しましたが、私が感じる運営部の最大の強みは、島村運営部長を中心としたチームワークの良さです。発足当初から連絡を密に取り合い、私が困ったことを相談した際には、委員の皆さんのが親身に対応してくださいり、迅速なレスポンスに幾度となく助けられました。定期的に部会（という名の飲み会…？）を開催し、親睦も深めてまいりました。

学会当日は、これまで培ってきたチームワークを活かし、縦横無尽に会場を駆け回る運営部の姿にぜひご期待ください！

私自身の活動の一つとして、日程表の作成に携わらせていただきました。当日の参加者の動きや各分野の導線を考慮しながらスケジュールを組み立てる作業は、壮大かつ難解なパズルを解いているような感覚でした。これまで何気なく見ていた学会の日程表が、実は多くの苦労を経て作られていることを知り、大変貴重な経験となりました。本学会の日程表も、瀧沢学長、野本実行委員長、高橋学術部長と議論を重ねながら作り上げました。埼臨技会誌の学会特集号がお手元に届きましたら、ぜひご覧ください。

運営部の活動とは少し離れますぐ、私は普段、病理細胞検査に従事しております。本学会では、病理5題、細胞4題と、近年では稀に見る多くの一般演題の登録をいただきました。当日は病理・細胞合同の研究班企画もございますので、関係者の皆様におかれましては、ぜひ会場に足をお運びいただき、活発な討論で会場を盛り上げていただけますと幸いです。

この原稿が掲載される頃には、学会開催まで約1ヶ月となっているかと思います。過去に運営部を経験された方によると、開催1ヶ月前から運営部の業務はさらに多忙を極めるとのことです。今から戦々恐々しております。そんな中、「学会に参加します!」「楽しみにしています!」といった皆様からの温かいお言葉が、大奮励になっております。

より良い学会となるよう、最後まで全力で駆け抜けてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(文責: 第53回埼玉県医学検査学会 運営部 松本祐弥)

参加お申込み用アプリをダウンロードしてご利用ください

Google Play



App Store

